

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成30年 3月26日

計画の名称	36 交通結節点改善による安心安全な人にやさしいまちづくりの推進（防災・安全）	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成28年度（1年間）	交付対象	日置市
計画の目標			

駅前広場をはじめとする交通結節点の改善により、公共交通機関の利用促進に資する施設等を整備するとともに、歩行者空間のバリアフリー化を促進し、安心・安全な人にやさしいまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）			
<ul style="list-style-type: none"> 1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄道駅における、バリアフリー化対策実施済率を40%まで向上させる。 乗降客数が26年度実績から増加するよう公共交通機関の利用促進を図る。 			

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 —	最終目標値 (H28末)	
バリアフリー化対策済率 (%) = バリアフリー化対策実施済駅数 (駅) / バリアフリー化対象駅数 (駅) × 100	30.0%	—	40.0%	
「伊集院駅利用者数」= JR鹿兒島本線伊集院駅の日当たり換算乗降客数	5,052人	—	5,062人	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	156.0 百万円	A	143.0 百万円	B	—	C	13.0 百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	8.3%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	---	----------	---	---	-----------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿兒島県都市計画課	事業実施期間の終了後 公表の方法 鹿兒島県ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益 比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
36-A-1	街路	一般	日置市	直接	日置市	S街路	改築	(他)朝日通り線（南口駅前広場）	駅前広場 A=3,200㎡	日置市					142	—	—		
36-A-2	街路	一般	日置市	直接	日置市	S街路	改築	(他)駅東口線（北口駅前広場）	駅前広場 A=4,000㎡	日置市					1	—	—		
合計											143	—	—						

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益 比	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
合計											0								

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
36-C-1	道路	一般	日置市	直接	日置市	駅西駐車場等施設整備	駐車場A=2,000㎡, 駐輪場A=700㎡	日置市						13	
合計											13				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C-1	基幹事業（36-A-1, 36-A-2）と一体的に実施することにより、地域住民及び駅利用者の利便性並びに安全性の向上を図る。														

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成30年 3月26日

計画の名称	36 交通結節点改善による安心安全な人やさしいまちづくりの推進（防災・安全）			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成28年度（1年間）	交付対象	日置市		
計画の目標	駅前広場をはじめとする交通結節点の改善により、公共交通機関の利用促進に資する施設等を整備するとともに、歩行者空間のバリアフリー化を促進し、安心・安全な人やさしいまちづくりを推進する。				

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計										0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の平均的な利用者数が3,000人/日以上以上の鉄道駅におけるバリアフリー化対策実施率を、平成28年度の1年間で40%まで向上した。 ・ 平成28年度の伊集院駅の利用者数は4,898人/日となり、平成26年度の伊集院駅利用者数5,052人/日より154人/日減少した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標 ・ 走行損失時間	最終目標値	40.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標どおり指標を達成した。
		最終実績値	40.0%		
	指標	最終目標値	5,062人	目標値と実績値に差が出た要因	駅前広場は繰越工事実施のため平成29年度末に完成予定であり、本駅の利便性が十分に発現していないことにより駅利用者が減少したことから、実績値と目標値に差が出ている。
		最終実績値	4,898人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		伊集院駅の自由通路および駅前広場の整備により鉄軌道駅のユニバーサルデザイン化が促進され、高齢者や障害者等の交通弱者に配慮した歩行空間が確保され、安全性や快適性が向上した。			

3. 特記事項（今後の方針等）

-

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	36 交通結節点改善による安心安全な人にやさしいまちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成28年度 (1年間)	交付対象	日置市

